

山正ニュース

2017年1月号 (通巻92号)

2017年のはじまりにあたり



新年明けましておめでとうございます。

昨年(2016年)も1年を通して天変地異の多い年でありました。2月の大寒波、春先の大風、4月の熊本・大分、10月の鳥取での地震、8月の東北・北海道での台風被害、9月以降の天候不順による野菜の高騰と、農家様やゴルフ場管理者においても、苦勞の多い年でなかったかと思えます。本年(2017年)こそは、大きな災害もなく、平穏な天候、気象条件で、生産物の収量、品質とも喜ばしいものとなるよう祈念します。

さて、昨年は農政にとっても大きなターニングポイントとなる出来事が多々ありました。TPPの国会承認(米国の行方次第で不透明ですが)、「農林水産業・地域の活力創造プラン」や、「農業競争力強化プログラム」が農林水産部会から発表され、国内外の需要の創造や、6次産業化の推進、農地中間管理機構の活用による農業構造改革と生産コスト削減、経営所得安定対策の見直しに日本型直接支払制度の創設、農協・農

< 山正ネットワーク >

・本社	☎ <058>271-4468	岐阜県岐阜市市橋4-5-15
・岐阜営業所	☎ <058>271-4466	(本社内)
・可児営業所	☎ <0574>62-5228	岐阜県可児市川合345-1
・富山営業所	☎ <0766>55-3882	富山県射水市大江207-1
・飛騨営業所	☎ <0577>72-4866	岐阜県高山市国府町村山857-2
・山正HPアドレス	http://www.yamasyou.com/	

業委員会の改革、所得向上につながる生産資材価格形成の仕組みの見直し等々、具体的政策はこれからであります。日本農業や関連業界にとっては大きな変革を求められる時代の幕開けであります。また、ゴルフ場業界では、入場者数は横ばいで推移しているものの、プレーヤー数の減少に歯止めはかからず、団塊の世代の高齢化による影響は避けられないものと思われま

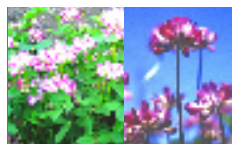
す。農業場面では生産者の皆様が、安心して農業生産に取り組める仕組みを作り上げることが大切であり、ゴルフ場・緑化事業においても重要な資源である緑地の管理を継続することが大事であります。弊社としてもそのためのご支援を、農薬・肥料・資材での提供、技術支援、情報提供で行ってまいります。本年は従来 of 取り組みに加え、昨年から取り組み始めた「マルチローター(ドローン)」の販売と活用、オペレータの育成に力を入れます。

今年は「全員営業」がキーワードです。「もっと早く、もっとマメに、もっと顧客へ」、社員一人一人が、「お客様」との「絆(きずな)」を強くするために、徹底的に訪問させていただきます。厳しくご指導いただければと思います。

本年も、山正経営理念である、「人の幸せのための、環境(まち)づくり、人財(ひと)づくり」をモットーに、環境コンサルティングの仕事を社員一同、一生懸命行わせていただきます。

本年もよろしくお願ひします。

平成29年1月 株式会社 山正
代表取締役 堅田 充宏



株式会社山正は、農薬・肥料・園芸ハウス・農業資材等の販売や、それに伴う農地・緑地・街路樹等のメンテナンス業務を通じ、地域農業や地域の環境緑地化への貢献を目指しています。



§ 1 第1回富山県山正イチゴ研究会を開催

～溶液土耕システムによる、 イチゴ安定生産のノウハウを学ぶ！～

弊社の富山営業所管内において、富山県イチゴ研究会を組織し、このほど第1回目の研究会を開催した（平成28年11月17日）。これは、弊社で取扱いしている溶液土耕システムによるイチゴ栽培に対する関心の高まりを受け、すでに導入している農家さんを中心に栽培技術の勘所を学ぶために開催されたもので、今後も継続して開催したいと考えています。

当日は、本県へ最初にシステムを導入された砺波市の梅香園様の協力を得て、県内から10数名の栽培者の方にお集まりいただき、システム導入元であるクロサキシードの村松氏からイチゴの栽培生理の講義の後、実際のイチゴを見ながら、葉摘みや摘果の実地指導をしていただきました。特に、収穫するイチゴの数を想定しながらの摘果実習やこの時期の溶液（EC）管理、さらには温度管理などはとても役立ったようでした。第2回目は1月下旬ころの予定です。

なお、弊社ではこの研究会をきっかけに、広く社内で活用できるような技術蓄積につとめていきたいと考えています。



ハウス内での講習の様子



イチゴの栽培生理講義と質疑の様子

2017年のはじまりにあたり 代表取締役 堅田充宏 1 ページ

§ 1 第1回富山県山正イチゴ研究会を開催

～溶液土耕システムによる、
イチゴ安定生産のノウハウを学ぶ！～（名畑技術顧問） 2 ページ